

【計画策定の目的】

・社会の様々な教育機能を総合的に整備し、豊かで活力ある社会を築いていくために、人々が生涯のいつでもどこでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が具体的行動などで活かされる日野市の生涯学習の実現を目的として、日野まなびあいプランを策定する。

【改訂の背景・主旨】

- ・現「日野まなびあいプラン」の計画期間終了に伴い、令和4年度から5年間の計画を策定する。人生を豊かに、日野市が考える「学び」を定義付けその指針を定める。
- ・現プランの基本理念である～このまちに生きる だからこのまちで 学び 学びあう～、コンセプト(展開)、視点等など、骨子となるものは現プランを引き継ぎ、改訂作業を行った。
- ・第32期日野市社会教育委員の会議が主体となり、企画・編集を行い策定をした。

【主な改訂について】

- ・基本理念は、～「学び」は人生を豊かに 「まち」は人生の集まり 個の「学び」が充実すれば、「まち」はきっと豊かになる～を、新たに加えることで、個々の学びで「まち」全体が豊かになることを目指す。
- ・今後5年間で取り組む「4つの学びの施策」と具体的な行動計画を定め(下記に記載)、「学ぶ・つながる・行動する」の循環を図っていく。

1. ひとりひとりの学びを応援する

- 「いつでも、どこでも、だれでも」学べる仕組みづくり。
- 学びを「深める」きっかけづくり
 - ・オンラインでの学びを推進し、時間や場所にしばられない学習機会を提供する。
 - ・より多くの市民が活用できる図書館・公民館・郷土資料館などの情報を積極的に発信する。

2. 学びのネットワークを創造する

- 「家庭教育×学校教育×社会教育」が連携するネットワークづくり
- 「SDGs」を学び、行動する市民のネットワークづくり
 - ・地域全体で「学び」を考えるための仕組みをつくる。
 - ・個人の学びが、地域の課題解決につながるネットワークをつくる。

3. 学びをコーディネートする

- 生涯学習ポータルサイト『Hi Know! (ひのう!)』の充実
- 人材・地域資源を「学び」を通じてまちに活かす
 - ・『Hi Know! (ひのう!)』に、学びをマッチングする機能を検討する
 - ・「学び」のアドバイスをする「学びコンシェルジュ」の仕組みを考える。

4. 人生の楽しみをカタチにする

- 日野市生涯学習「まなびの日」をつくる
- 個の学びから、まちに広がる学びの循環を実現する
 - ・「こんな学びがある」という情報を積極的に発信する。
 - ・「学びの楽しさ」を伝え、「学びたいという思い」を喚起するイベントを考える。

【策定のポイント】

- 計画書は、A3判リーフレット形式とし、目で見てわかる、手に取りやすい、理解しやすい、デザイン性のある「学びのハンドブック」的なものとした。
- 「やりたいことがここにある」を視点の中心におき、「学び」についての総合的な構想・計画のキーワードを示すことで全体をイメージしやすい計画とした。
- 「学びのストーリー」は、ライフステージごとに「学び」があることを提示し、どの世代でも共感できる学びへのつづやきを集め、学びの入り口に導く動機付けとなるよう活用を図る。
- 計画の進捗管理が、市民にもわかりやすいものとするため、行動計画の実施項目はQRコードを読み込ませることで、生涯学習課ホームページに移行し進行管理を行う。「いつでもどこでもだれでも」知りたい情報を届けることができるよう、ホームページの充実、更新に努めていく。

【計画策定作業の主な経過】

令和3年1月	令和2年度第4回日野市社会教育委員の会議
令和3年4月	令和3年度第1回日野市社会教育委員の会議
令和3年7月	令和3年度第2回日野市社会教育委員の会議
令和3年8月	計画策定作業部会（日野市社会教育委員による）
令和3年9月	計画策定作業部会（日野市社会教育委員による）
令和3年10月	令和3年度第3回日野市社会教育委員の会議
令和3年11月	「ひのまなびのまつり」シンポジウムの開催 計画策定中間報告を市民向けに実施
令和3年11月	計画策定作業部会（日野市社会教育委員による）
令和4年1月～2月	パブリックコメント実施
令和4年1月	令和3年度第4回日野市社会教育委員の会議
令和4年3月	令和3年度教育委員会にて審議
令和4年4月1日	施行

担当課

日野市教育委員会 生涯学習課 ☎042-514-8765（直通）